

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 7 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 24 年 5 月 11 日(金) 14:00～17:00
2. 場 所：主婦会館プラザエフ スイセン
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，池田幹事，大山幹事，斉藤幹事，下村幹事，
武知幹事，古市幹事，松本幹事，溝江幹事，渡辺幹事，葛西幹事，竹原事務局員
(欠席者：奥井幹事，広瀬幹事)
4. 配布資料
資料 幹7-0 第7回複合構造委員会幹事会議事次第
資料 幹7-1 第6回複合構造委員会幹事会議事録(案)
資料 幹7-2-1 幹事会名簿・委員会名簿
資料 幹7-2-2 H24幹事会・委員会予定
資料 幹7-2-3 幹事会作業分担
資料 幹7-3 重点研究課題結果
資料 幹7-4 300年プロジェクト小委員会(H105)趣意書
資料 幹7-5 新規第2種小委員会(H212)趣意書
資料 幹7-6 受託研究について
資料 幹7-7 H208小委員会設置期間延長について
資料 幹7-8-1 H23決算
資料 幹7-8-2 H24予算
資料 幹7-9-1 共通セッション
資料 幹7-9-2 研究討論会
資料 幹7-10-1 FRPシンポジウム準備状況
資料 幹7-10-2 論文集特集号
資料 幹7-11-1 出版関係
資料 幹7-11-2 調査研究委員会編集図書の発行について
資料 幹7-12-0 小委員会一覧
資料 幹7-12-1 H101示方書委員会
資料 幹7-12-2 H104震災調査小委員会
資料 幹7-12-3 H206ずれ止め小委員会
資料 幹7-12-4 H207樹脂材料による複合技術研究小委員会
資料 幹7-12-5 H208FRP複合構造研究小委員会
資料 幹7-12-6 H209FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会
資料 幹7-12-7 H210複合構造物の防水・排水技術研究小委員会
資料 幹7-12-8-1 H211FRPと鋼の接合方法に関する研究小委員会
資料 幹7-12-8-2 複合構造レポート05の前書き
資料 幹7-13 第3回複合構造委員会議事次第案
資料 幹7-14-1 研究企画委員会の委員選出
資料 幹7-14-2 研究企画委員会規則
資料 幹7-15-1 JSCE2010に関する資料
資料 幹7-15-2 学会活動の4つの視点からの評価・PR等様式

資料 幹7-16-1 後援依頼(独日橋梁シンポジウム)

資料 幹7-16-2 独日橋梁シンポジウム概要

5. 議事内容

(0) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり、杉浦委員長より挨拶があった。

(1) 平成 23・24 年度 第 6 回複合構造委員会幹事会議事録の確認 (資料 幹 7-1)

西崎幹事長より、前回幹事会の議事録(案)が読み上げられ、一部修正の上、承認された。

指摘事項：土木学会論文集について、特集号は英語のみが原則であったとあるが、特集号ではなく、通常号とのこと。

(2) 幹事・委員の交代について (資料 幹 7-2-1)

西崎幹事長より幹事・委員の交代について、紹介があった。大垣幹事が H24 年 4 月以降に委員になることに伴う委員および幹事の交代を必要としているが、次回幹事会または委員会までに状況を固めるとのこと。

(3) H24 年度幹事会計画 (資料 幹 7-2-2, 幹 7-2-3)

西崎幹事長より、H24 年度の幹事会開催計画の紹介があった。

委員会は 7/13 に開催するとのこと。

幹事会は資料に沿って、日程を確認した。なお、10/24 は開催決定。12 月以降は再度調整することとなった。

また、幹事会内での業務分担は西崎幹事長が意見を徴集することとなった。次回幹事会に決定するとのこと。

(4) 重点研究課題(資料 幹7-3, 幹7-4)

西崎幹事長より、重点研究課題として申請したものが認められ、実施することとなった旨の報告があった。

結果として、小委員会を設立する予定であるとのこと。現時点で確定していることは以下の通り。

委員長は上田委員。

幹事長は古市幹事。

第 1 種小委員会として申請予定。

委員の選出にあたっては、港湾空港技研にも要請する。

塗料メーカ、金属関係の方々にも委員として加わっていただくなどの案が出た。詳細は、委員会にて決定するとのこと。

(5) 新規小委員会について (資料 幹 7-5)

斉藤幹事より、耐荷メカニズム小委員会の設立趣意について説明があった。

委員長候補として斉藤幹事、幹事長として牧委員として、委員会で提案する旨了承された。

(6) 受託研究の内規について(資料 幹 7-6)

西崎幹事長より、資料に基づいて受託研究の内規について、他の委員会との比較結果の報告があった。また、その比較を元に本委員会での実施方法の提案があった。

幹事会としては、これを了承することとした。最終的には委員会にて審議いただくこととした。

これを受け、FRP 水門に関する受託研究について説明があり、受託研究を実施することです承した。

また、このために運営細則に従い受託研究小委員会を設置することとなるが、小委員会構成の基本方針は了承することとし、委員候補が決定したのちに委員会に諮ることとなった。また、委託元との受託契約を取り交わす必要があることを確認した。

(7) H208 小委員会の設置期間延長について(資料 幹 7-7)

杉浦委員長より、これまでの同小委員会の進捗状況について説明があった。その上で、期間延長に関する趣旨説明があった。幹事会としては、延長を了承することとした。

(8) H23 年度決算および H24 年度予算案について(資料 幹 7-8-1、幹 7-8-2)

竹原事務局員より、H23 年度の決算について説明があった。

西崎幹事長より、H24 年度予算案について説明があった。受託研究からの金額は差し引いて案を作成する必要があることを確認した。

(9) 年次大会について(資料 幹 7-9-1、幹 7-9-2)

池田幹事より、資料に沿って、講演セッションに関する説明があった。

渡辺幹事より、研究討論会に関する説明があった。

(10) 第 4 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウムについて(資料 幹 7-10-1)

溝江幹事より、資料に沿って、進捗状況の説明があった。

優秀講演賞の候補対象者をどうするかについて、議論を行い、講演者（学会への所属を問わない）を対象とすることとした。

現時点で、15 編の投稿が有り、さらに追加要請があった。HP にも追加募集を掲載することとした。締切は 5/28 まで。

(11) 土木学会論文集 A1 特集号について(資料 幹 7-10-2)

大山幹事より、資料に沿って、投稿要領、および、スケジュール案について説明があった。

予算の都合上、年度内に特集号を発刊する必要があるとのこと。これを踏まえて、スケジュール案を再度調整していただくこととした。委員会にて審議いただくこととなった。

論文集の内容として、展望論文を加え、これに複合構造委員会委員長および副委員長から執筆いただくとのこと。また、小委員会における報告を委員会報告として執筆いただくことも検討するとのこと。なお、原則として、論文集におけるノートおよび報告の類は設けないことを確認した。

(12) 出版関係(資料 幹 7-11-1、幹 7-11-2)

武知幹事より、資料に沿って、説明があった。なお、資料 幹 7-11-2 により、新刊図書の発行スケジュール遵守に関する説明があった。

(13) 小委員会報告審議事項(資料 幹 7-12-0～幹 7-12-8)

各小委員会の連絡幹事より小委員会の進捗状況について、資料を基に説明があった。以下に要点をまとめる。

複合構造標準示方書小委員会 (H101)(資料 幹 7-12-1)

渡辺幹事より、活動状況の報告があった。なお、藤山(法政大)新委員の追加について審議いただいた。幹事会としては特に異論なく了承された。

東日本大震災被害調査小委員会 (H104)(資料 幹 7-12-2)

渡辺幹事より、活動状況の報告があった。なお、現地調査は、震災調査を行っており、情報を収集したとのこと。現在は、今後に対する何か提案ができないかを検討している段階とのこと。

複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会 (H206) (資料 幹 7-12-3)

渡辺幹事より、活動状況の報告があった。現在、標準化試験の方法を確立すべく検討中とのこと。

樹脂材料による複合技術研究小委員会(H207) (資料 幹 7-12-4)

西崎幹事長より、活動状況の報告があった。講習会を開催するので、参加いただきたいとのこと。

FRP 複合構造研究小委員会(H208) (資料 幹 7-12-5)

西崎幹事長より、活動状況の報告があった。委員の追加が報告された。

また、FRP シンポジウムにて特別セッションをコーディネートするとのこと。内容については、検討中とのこと。

FRP によるコンクリート構造の補強設計小委員会 (H209)

渡辺幹事より、活動状況について説明があった。本小委員会では、土木学会年次大会の研究討論会をオーガナイズするとともに、研究討論会・共通セッションにて、小委員会での検討内容を発表するとのこと。

7月に最終の小委員会を開催予定とのこと。

なお、2期目に延長するにあたって、委員の公募の必要性や小委員会名の変更の必要性について議論された。その結果、延長については、次回幹事会にて小委員会委員長から説明いただきたいとのこととなった。また、委員については、公募の必要性は特になく、小委員会名も変更の必要はないとを確認した。

複合構造物の防水・排水技術研究小委員会 (H210) (資料 幹 7-12-7)

溝江幹事より、活動状況について説明があった。現在のところ、現場見学会を実施しており、どんなものを研究対象とするか抽出を行っているところ。実験を実施予定であるが6月から開始するとのこと。

FRP と鋼の接合方法に関する研究小委員会 (H211) (資料 幹 7-12-8-1, 幹 7-12-8-2)

西崎幹事長より、活動状況について説明があった。H205 小委員会を引き継いだ活動は終了したとの報告があった。現在、接着について徐々に検討を着手しており、文献調査を実施している段階とのこと。資料 幹 7-12-8-2 では、過去の小委員会の成果報告として複合構造レポート 05 の前書きを審議いただいた。その結果、名簿の書き方や、細かな修正については、最終的には委員長に委ねることとなった。

(14) 親委員会次第(資料 幹 7-13)

西崎幹事長より、次第(案)に関する説明があった。表彰規定と土木学会特別号に関する議事を追加することとした。

(15) 研究企画委員会委員の選出について(資料 幹 7-14-1, 幹 7-14-2)

西崎幹事長より、資料に沿って、選出に関する説明があった。資料幹 14-2 により研究企画委員会の説明があり、今回の委員選出に関する経緯説明があった。また、資料により、委員交代の順番を確認した。

(16) JSCE2010 について(資料 幹 7-15-1, 幹 7-15-2)

西崎幹事長より, 資料に沿って, 説明があった. 内容について, 何か不明な点があれば, メールにて問い合わせいただきたいとのこと.

(17) 独日橋梁シンポジウムについて(資料 幹 7-16-1, 幹 7-16-2)

杉浦委員長より, 資料に沿って, 説明があった. 資料幹 7-16-1 では, 本シンポジウムへの後援依頼があり, 幹事会としては, これを了承した. 資料 幹 7-16-2 にてさらにシンポジウムの詳細が説明され, 参加者をより多く募りたいとの説明があった. ぜひ, 周囲で参加を促していただきたいとのこと.

以 上
(記録・文責 葛西)